

第 56 期中央労働講座 参加報告書

関東地本東京支部

河村法和

6月12日～14日の2泊3日にて開催されました第56期中央労働講座に参加させて頂きました。今回で2回目の参加となりましたが、1回目は組合加入後間もなく、組合の知識もなく、組織全体像も把握できてない状態での参加でした。その為、周囲との関係性を把握するだけで、講座で学んだ知識等はあまり活かしたとは言えませんでした。しかし、今回は組織全体把握や基本的な組合知識・経験を積んだ上での参加でした。参加しての結論としては、講義から得られた知識や横との繋がりといった目的は、前回参加後よりも質・量とも多くの事を得ることが出来ました。

第一講義では、温故知新の言葉がある様に先輩方がたたかった目的、得ることが出来た功績を守る必要性を知ることで、全港湾の一員として大切なことを確認致しました。改めて平和の大切さや先輩方の功績に敬意を表する講義でした。

第二講義では、先輩方が勝ち取った功績を維持していく為にも、事前協議の重要性、監視機能として各地方が果たすべき役割を認識した講義でした。

第三講義では、組織を強化・維持する為に必要な心構えや方法等、臆気なイメージはあったが、言語化が難しかった事が言語化され、自分の中で整理を行えた講義でした。

横との繋がりや、班毎のディスカッションやゲームを行い深めました。特に自分の中では第一講義にあった「魅力ある港湾」の「魅力」が後輩達はどうのような事に感じるかを班内で深堀議論できたことが印象に残りました。又懇親会等では各地方の垣根を越えて、色々の方と交流を深める事が出来た事が収穫でした。

以上の点で、前回参加した時より質・内容共に知識・繋がりを得たと感じました。

最後に、充実した内容の講義をして頂いた講師の方々、講座の準備・進行をして頂いた中央本部の方々、又共に第56期中央講座を経験した方々に御礼を申し上げます。

以 上